

男性の家事・子育て参画促進事業【静岡市】

総事業費	730 千円
交付金額	365 千円

地域の実情と課題

- ・市民意識調査(R3)において、男性が家事。育児に参加していくために必要なこととして、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」や「男性の抵抗感をなくすこと」、という項目が上位であった。
- ・6歳未満の子どもをもつ夫婦の育児時間は、静岡市平均 妻7時間40分、夫1時間53分(妻/夫=4.0)で、全国平均 妻7時間25分、夫2時間14分(妻/夫=3.3)と比較して、妻の負担割合が高い。

事業の特徴

市民向けワークショップでは、内閣府作成「夫婦が本音で話せる魔法のシート ○○家作戦会議」を活用し、夫婦がよりよいバランスで家事や仕事に取り組めるきっかけをつくる。

従業員向けに男性育休取得当事者の事例紹介や体験談を通して得た気づきをシェアをつうじて企業としてのメリットを共有した上で、自分の立場から始められる支援・行動を考え、取り組むきっかけをつくる。

事業の効果

- ・(市民向け)参加者1か月後のアンケートによると、家事・子育て分担を見直したことによって、ワークライフバランスが改善したという回答が9割おり、家事・子育て分担の見直しによって、目的としていたワークライフバランスの改善につながった。
- ・(従業員向け)参加1か月後のアンケートによると、8割近くが、職場内と家庭内の両方で男性育休取得や、男性の家事子育て参画について意識する機会があったと回答した。職場内だけではなく、家庭生活においても、意識の改善が見られた。
- ・セミナーが役立ったと回答した割合 98%(市民向け・従業員向け合算)

目的・目標

- 男性の家事・育児等への参画を促進することにより、女性が働きやすい環境づくりに取り組む。
- ・開催回数 実績:3回 目標:3回(達成)
 - ・参加者アンケート「仕事へのモチベーションが高まった」と回答した割合 実績:79% 目標:80%(未達成)

連携団体

市女性会館、経済団体等

今後の課題

・女性活躍のための男性の家事・育児等参画をさらに促進させるため、ワークショップ等イベントの参加者に留まらず、広く啓発できる仕組みの検討が求められる。

事業の概要

(目的) 男性の家事・育児等への参画を促進することにより、女性が出産、子育てを機に仕事を辞めたり、非正規になることなく、夫婦で共働き、子育ての環境づくりに取り組む。

・家事分担ワークショップの開催

(市民向け)

内閣府作成「夫婦が本音で話せる魔法のシート ○○家作戦会議」を活用し、夫婦がよりよいバランスで家事や仕事に取り組めるきっかけをつくる。 実績 市内在住・在勤の共働き夫婦(延べ44人)

(従業員向け)

男性育休取得当事者の事例紹介や体験談を通して得た気づきをシェアをつうじて、企業としてのメリットを共有した上で、自分の立場から始められる支援・行動を考え、取り組むきっかけをつくる。

実績: 市内事業所に勤める共働き夫婦(18人)

パパママや共働きカップルのための家事分担ワークショップ

WORKSHOP

11月 2023 10.7 sat
12月 2023 12.2 sat
14:00-18:30 (予約必須)

PROGRAM

第1部 (講演) 「パパママに聞く」子育てと仕事でできること、夫婦、企業ができること。

第2部 「〇〇家作戦会議」を活用し、夫婦がよりよいバランスで家事や仕事に取り組めるきっかけをつくる。



『企業向け 家事子育てシェアワークショップ』

企業向け
家事・子育てシェア
ワークショップ

第1部 男性育休取得当事者などの事例紹介
第2部 ワークショップ

